



特集 「大人におすすめの絵本」



図書館の絵本コーナーをのぞいたことはありますか？「絵本」というと小さい子ども向けのイメージがあるかと思いますが、大人も楽しめるものが実はたくさんあるのです。内容はもちろんのこと、文字が見やすく絵も楽しめる絵本は、むしろ大人の方にこそ手にとっていただきたいと思います。

忙しい日常の気分転換や心の癒しになること請け合いです。

「つみきのいえ」



古里図書館

大人だからこそ、ご自身の人生と重ねて読むことのできる一冊です。

海面がどんどん上がってくる町に住むおじいさん。ある日、大工道具を落としたおじいさんが海に潜ると・・・。

「ネコになりたかったクモのルイージ」



氷川図書館

お孫さんやお子さんと一緒に楽しめる一冊です

子ネコがほしいと思っていたベティおばさんの家に入りこんでしまったクモ。ルイージと名付けられたクモは、おばさんを喜ばせようと、ネコのふりをしました。ところがある日・・・。

「ちょっぴりながもちするそうです」



氷川図書館

大人向けの絵本といえば「ヨシタケ シンスケ」！心の処方箋となってくれるでしょう



「あつかったらぬげばいい」

ヘトヘトにつかれたら、だれもわかってくれなかったら、せいかいがかわってしまったら・・・。

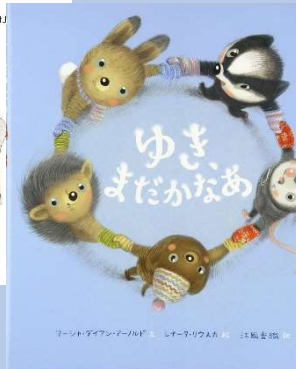
子ども、大人、おじいちゃんのさまざまな疑問に痛快に答える絵本です。



氷川図書館

著名作家の翻訳絵本。小説とはひと味違った世界観をお楽しみください。

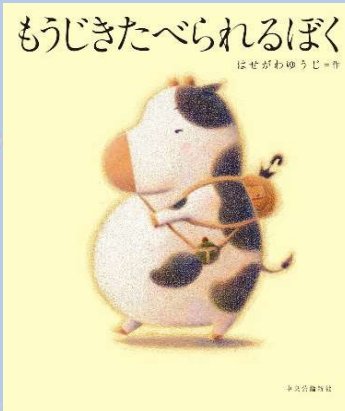
古里図書館



「だいすき。」

だいすきなちっちゃい魚ちゃん。きみがいないとお月さまもきみに見えるんだ。やさしく心に響く一冊です。

「もうじきたべられるぼく」



古里図書館

「ぼくは牛だから、もうじき食べられる」自分の運命を受け入れた牛は、最後に一目だけ、お母さん牛に会いたくて生まれ育った牧場に行くことにして・・・。

食育にも最適な絵本。

話題の食育絵本。いつもの「いただきます」が変わります。

「いつまで、いっしょ？」



古里図書館

パンダさんとネズミちゃんは、とってもなかよし。季節が何回めぐっても、ふたりはいつも一緒に過ごします。けれども、ネズミちゃんは時々心配になって「ねえ、パンダさん、どんな時もそばにいてくれる？」と尋ね・・・。

愛する人、大切な人を思い出すでしょう